

委員からの意見書（原本）

基盤整備部会抜粋

（第 2 回基盤整備部会資料）

令和3年8月27日

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会：

氏名:高良富夫

委員 ・ 専門委員

所属部会名： 基盤整備部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
4	99	9	ResorTech Okinawa	ResorTech Okinawaはとても良い概念であり沖縄に適した造語であると思う。しかし、「本県においてデジタル社会を実現していく中で、情報通信産業の高度化と全産業のDXを推進する取り組みの総称」としては適当でないと思う。用語をさらに検討する必要がある。	(1)用語がすべて英字であり、初めて出会った人にはどのように読むのかさえ難しい。 (2)これはテクノロジーであり「全産業の」とするには狭い概念である。 (3)DXを推進する取り組みのイメージにつながりにくい。
	99	11	全産業のDXを	観光産業をはじめ全産業のDXを	Resortと整合する。
	99	11	DX	DX(デジタル・トランスフォーメーション、ITにより人々の生活をあらゆる面で良い方向へ変化させること)	DXは、ここでは重要な略号である。このあと何回も出てくる。最初の方で説明が必要である。
					以下、用語上の意見。委員は、読み進めていくうえで、引っ掛かりを感じたので、国語辞典などを調べたうえで提案する。
	100	22	PPP	PPP(公民連携)	英文字だけの略号は一般県民には分からない。
	100	22	PFI	PFI(民間主導公共サービス)	英文字だけの略号は一般県民には分からない。
	100	29	士業専門家	有資格専門家	士業は国語辞典にないので。
	100	31	エコシステム	ビジネス生態系	エコシステムは一般には生物に関連した生態系。この文脈ではこの方がいい。
	107	20	同上		

(別紙 2)	107	33	同上		
	108	18	同上		
	107	27	イノベーション型経済への転換	イノベーション型経済成長	イノベーション型経済という用語はないのではないか。
	108	8	異なる分野のプレイヤーの	異なる分野の または 異なる分野の間の	意味は分かるが、日本語として適当でない。辞典によればプレイヤーは、プレイヤード【La Pleiade フランス】。プレーヤー【player】は①競技者。②演技者。演奏者。③レコード-プレイヤー・CDプレイヤーなどの略。
	109	13	ハンズオン支援	ハンズオン支援(専門家派遣)	カタカナだけではわかりにくい。国語辞典にない。
	110	16	バリューチェーン	価値連鎖	カタカナだけではわかりにくい。国語辞典にない。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会： **基盤整備部会**

氏名:高良富夫

委員　・　**専門委員**

所属部会名： 基盤整備部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
4	113	21	本県の置かれた特殊な諸事情…マッチングの推進	具体的に何を示すのか、一つでも例示が必要と考える。	具体性に欠け、専門用語を並べただけというような印象を受けやすい。
	113	29	新たなビジネスモデル	具体的な例示が必要と考える。	具体性に欠け、専門用語をただ並べただけというような印象を受けやすい。
	140	14	ア 次世代の通信環境に対応した情報通信基盤の整備	離島に対する施策を踏まえた記述、産業に対する施策を踏まえた記述、防災の基盤としての記述、教育の基盤としての記述などが必要。pp.96-97, pp.99-102を参照。	このままでは全国一般的な記述であり、沖縄の特異性を踏まえた記述が少ない。具体性に欠ける。
	140	17	各地に	本県各地に	この段落はとくに沖縄県と無関係の印象を受ける。例えば左のように挿入し、ほかの段落と同じくらいに短くする必要がある。
					以下は参考意見。
	175	21	沖縄工業技術センター等の	沖縄工業技術センター、職業能力開発大学校等の	ものづくり産業の社会人向けの高度技術講習(セミナー)を受けられる。
6	189	6	関連遺産群」など	関連遺産群「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の	自然遺産登録が決定したので。
	199	26	を見据え	地にふさわしい	自然遺産登録が決定したので。
	215	10	児童	幼児・児童 または 児童・生徒	児童だけでいいのだろうか。
	231	21	世界自然遺産登録を見据えた	世界自然遺産に登録された	自然遺産登録が決定したので。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

※切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用)
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：高良富夫

委員 ・ **専門委員**

所属部会名： 基盤整備部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
					専門委員が国語辞典を調べても出ていないカタカナ用語である。すなわち日本語としてはまだ定着していない。専門用語辞典を調べなければ理解できない。
4	103	8	リードタイム	所要時間	漢字なら県民にも理解可能になると考える。
	105	22	コールドチェーン ロジスティックス センtralキッチン	冷凍流通体系 物流管理 集中調理施設	漢字なら県民にも意味が明確。
	106	27	ブランディング	顧客満足度向上	これなら全くわからないものが分かる。
	113	11	ビジネスを通じて社会課題を解決し、社会の变革をもたらすソーシャル・イノベーションを促進する	ソーシャル・イノベーション(ビジネスを通じて社会課題を解決し、社会の变革をもたらすこと)を促進する	定義であることを明確にすべきである。
	113	30	ビジネスによる社会課題解決を図るソーシャル・イノベーションの促進に	ソーシャル・イノベーション(ビジネスによる社会課題解決を図ること)の促進に	同上
	125	5	ハンズオン支援	専門家派遣	漢字なら県民にも意味が明確。
	125	27	サポーターティング産業	サポーターティング産業(工業を支える中小企業、部品メーカーなど)	カタカナだけではわからない。
	126	25	インバウンド	訪日外国人旅行	漢字なら県民にも意味が明確。
	143	22	モーダルシフト	モーダルシフト(CO2削減のための交通手段の変更)	説明を要する。
	143	30	ユニットロード	パレットやコンテナ向け	これなら全くわからないものが分かる。
	143	34	フライ・アンド・クルーズ	航空・クルーズ連携	これなら全くわからないものが分かる。

(別紙	144	16	スーパーヨット	個人用大型クルーザー	これなら全くわからないものが分かる。
2	146	13	グリーンインフラ	グリーンインフラ(自然環境利用)	これなら全くわからないものが分かる。
6	196	8	フィーダー	支線	これなら全くわからないものが分かる。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会： **基盤整備部会**

氏名:高良富夫

委員 ・ **専門委員**

所属部会名： **基盤整備部会**

(素案)			本 文	意 見(修 正 文 案 等)	理 由 等
章	頁	行			
					頭文字による略号は一般の県民には分からない。専門委員は国語辞典を調べたが出ていなかった。専門用語辞典を参照して、修正提案を作成した。
4	90	21	CIQ	CIQ(税関・出入国管理・検疫)	CIQは一般にはわからない。
	113	21	ESG	ESG(Environmental, Social, and Corporate Governance; 社会的および環境的要因に対する企業の集成的な誠実性の評価)	ESGが唐突に表れている。説明が必要である。
	127	6	EC	電子商取引	完全に意味の分かる日本語があるのだからこれに変えるべき。
	142	5	CIQ	CIQは一般にはわからない。	CIQは一般にはわからない。
	142	7	MaaS等による	説明を加えるか、「ICTを活用した」に変える。	MaaSは一般にはわからない。
	143	27	RORO船	RORO船(車両甲板を持つ貨物船)	ROROは一般にはわからない。
	145	14	BPC	事業継続計画	BPCは一般にはわからない。
	145	21	CIQ	CIQは一般にはわからない。	CIQは一般にはわからない。
	148	15	LRT	LRT(軽量軌道交通)	この方がわかりやすい。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。
×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用)
(新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会：基盤整備部会

氏名：高良富夫

委員 ・ 専門委員

所属部会名：基盤整備部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
					以下、専門委員が読み進めていくなかで引っ掛かりを感じたものである。国語辞典を調べながらの提案である。
4	84	27	イノベーション型経済への移行を	イノベーション型経済成長を	イノベーション型経済という用語はないのではないか。
	86	25	そのための人材への	そのための人材育成への	この方が具体的。
	89	1	中央	中欧	ミスでは。
	89	3	終息後を見据えた	感染症の終息後を見据えた	この項目では何の終息か明らかでない。
	89	7	役割の一つに挙げられる。	県の役割か	主語がない。
	89	11	へとつなげる	する	つなげるとは何かわからない。
	103	28	復便	復便の増加	復便の誘致だとなぜ復便だけかという疑問に思う。
	104	5	片荷 創貨	専門用語でなく、わかる言葉に変えられないか。 片荷：片方向荷物 創貨：貨物需要の創出	県民に分かる言葉で。
	143	27	特に…取り組む。	特に…集中している。そこで、那覇港…整備等を 図る。それにより、港湾施設…取り組む。	文が長いので、最後の方では文頭が何だったのかわからない。三つに分ける。

(別紙 2-1)	144	18	親水空間	水に親しむ空間	これだとわかるのではないか。
	146	15	新交通システム	軌道車などの新交通システム	具体例を入れるとわかるのではないか。
	146	15	超小型モビリティ	超小型モビリティ(1, 2人乗り車)	これだとわかるのではないか。
	147	22	有効的な	有効な または 効果的な	自然な日本語として。
	149	1	道路空間への再配分	道路空間の再配分	自然な日本語として。
	155	27	危機管理に	この地域の危機管理に	太平洋地域の体制か。
	156	9	関係人口	関係人口(定住人口、交流人口以外の多様に関わる人々)	専門用語。
	175	10	農外	農業以外	自然な日本語として。
	175	18	産業化		ミス?この文脈では意味不明
6	194	27	島しょ型モビリティ	電気自転車など島しょ型モビリティ	具体的に何かを示すとわかる。
	195	28	過疎債	市町村が発行する過疎債	過疎債とは何かわからなくても理解しやすい。
	196	5	骨格性		意味不明
	211	5	スマートプラスチック	プラスチックスマート	これが正しいのでは?
	212	18	連たんする	連なる	この方がわかりやすい。
	222	6	環境負荷に対して脆弱	廃棄物等による環境負荷に対して脆弱	初めて読む人には、環境負荷に脆弱なこと からなぜ廃棄物処理につながるか分からな
	228	16	実習	講習 または 訓練	講習や訓練でなく、すぐその内容の実習に なっているのは奇異
	231	20	八重の	八重山の	誤植か

(別紙 2-1)	235	12	パイナップル	パイナップル	ミスでは。
	235	28	実習	講習 または 訓練	講習や訓練でなく、すぐその内容の実習になっているのは奇異

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

基盤整備部会関連意見 (高良)

- p. 31.1. 20 「脱炭素化に配慮した空港・港湾機能の高度化」とは具体的に何か。
- p.33, 1.20 「魅力的に見える可能性がある。」→「魅力的である。」
- p.34, 1. 20 「骨格性」とは何か。
- p.36, 1.10 「世界遺産登録を見据え」→「世界遺産登録をきっかけに」：登録決定されたので。
- p.71, 1.19 「レジリエンス」→「回復力」ではどうか。カタカナでは全く分からない。
- p.71, 1.26 「デジタル化・オンライン化」→「第4次産業革命を見据えた (or デジタルトランスフォーメーション) を見据えたデジタル化・オンライン化」：デジタル化・オンライン化では古い。
- P. 72, 1.9 「第四次産業革命 (or デジタルトランスフォーメーション) を見据えた行政サービスに取り組む。」を挿入。：デジタル化・オンライン化・オープンデータ化だけでは古い。
- p. 189, 1.6 「奄美・沖縄…」：自然遺産を挿入。
- p. 196, 1.5 「骨格性」？
- p. 196, 1.8 「ライダー交通」→「支線交通」ではいけないのか。
- p. 199, 1.26 「を見据え、その」→「にふさわしい」：登録決定したので。

新たな振興計画（素案）に対する意見書

基盤整備部会 神谷大介

以下の意見は項目ごとに記しておりますので、他の章等に書かれているかも知れません。その場合はその旨ご連絡頂ければ結構です。

第4章

3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化

P86L1：「沖縄 IT イノベーション戦略センター・・・DXに取り組む意義・・・気運の醸成を図る」とありますが、オープンデータ化（有料・無料は別として）へのインセンティブを考える必要があります。データを公開・開示することの社会的重要性を知ってもらうだけでなく、データ提供者にとってのメリットを付与する仕組みについて検討する必要があります。

P86L9：「建設業におけるドローンを活用した測量等（i-construction）の推進」と書かれています。ドローンによる出来形管理などは当たり前のように既に実施されているべきことであり、ものすごく消極的な表現となっていると思います。例えば、「建設分野においては、BIM/CIMによる調査・設計・施工・維持管理における3次元モデルの連携、MMS等による点群を用いた維持管理の効率化や災害復旧対応の迅速化等、設計から維持管理や災害時を含めた建設分野におけるICT技術の推進と活用による生産性向上に取り組み。」などの表現にはできないでしょうか。さらに言えば、「これらで取得されたデータを施工段階や維持管理段階へ活用するデジタルツイン、デジタル静岡のような観光など他分野への活用による多分野も含めた新たな価値創造へ繋げる」というところまで行けると思います。なお、ここで記したことは国内では新しいことではないと思っています。さすがに、原文のまだと10年前の文書になってしまっております。

P83③：人材投資による生産性については、リカレント教育の重要性およびそれを行うための大学との連携について記しておいてはいかがでしょうか？書く場所が違ってもいいかもしれませんが、行政職員のリカレント教育も必要だと思います。講演会という単発のものではなく、社会人修士なども含めて検討頂いた方が良くと思います（企業も行政も）。

全体として書かれていないと感じる事項として、シェアリングエコノミーの取り扱いが弱いように感じます。例えばカーシェアリングについては少し書かれています。これが推進

されれば駐車場という生産性が低い土地利用を変えることができます。沖縄の特徴として狭小性を言うのであれば、土地制約は非常に大きく、土地の価値を高める取り組みは極めて重要です。

3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革

P92L24：「社会的利益」と書かれています。正しいでしょうか？社会的便益ではないでしょうか？

P92L31：「高次元のニーズ」とは何でしょうか？マズローの階層理論ではなさそうですし、文章を読むとこれに対応することが観光収入の増加や環境配慮に繋がるようなので、単価の高い観光ということでもなさそうです。

P97 ⑤

「観光二次交通の利用促進」というタイトルになっていますが、内容は公共交通の利用促進かと思われます。観光二次交通は飛行機やクルーズなどで来られた方と次の移動手段を意味しているだけであり、レンタカーであっても公共交通であっても利用しています。タイトルが適切では無いように思われます。

その他ここに関わると思われる事項：

P77 に観光危機管理と書かれています。持続可能な観光地という観点からも観光危機管理は重要です。この危機として感染症や自然災害など様々なことを想定すればよいのですが、少なくとも島嶼地域において人命を失うような自然災害が発生した場合、観光復興に時間がかかることは過去の災害から明らかです。この対応に加え、観光交通マネジメントや自然環境への影響モニタリングの観点からも、観光客の流動をモニタリングすることは重要です。それを踏まえたうえで、例えば津波浸水想定区域内にどれだけの人がいるのか？(L1・L2災害) 何人の帰宅困難者がどの島・地域で発生するのか？それらを受け入れるキャパシティは？などが検討されます。現状においては、検討のための定量的な数値すら明確に取れないと思います。また、コロナからの回復における地域差などもこれから問題になる可能性があります。このような観点から、「ICT 技術などを活用した）観光流動のモニタリング」という言葉は必要だと思います。

ここでは無いかもしれませんが、災害時に大型旅客船を寄港させ、一時的な避難所として利用することも十分検討に値すると思います。そのまま乗せて鹿児島まで運ぶのもあるうかと思えます。

3-(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業

- 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出
- 3-(8) 地域を支える第二産業と県産品の振興
- 3-(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成
- 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献
- 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出
- 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくり

第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開

- 1-(1) 県土の均衡ある発展と持続可能な県土づくり
- 1-(2) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成
- 1-(3) 広大な海域の保全・活用
- 2-(1) 県全体の持続可能な発展を牽引する中南部都市圏の形成
- 2-(2) 県土の均衡ある発展を支える「東海岸サンライズベルト構想」の展開
 - 二つを合わせてですが、東西の連携をどのように考えられているのでしょうか？例えば、那覇港と中城湾港における物流・クルーズ・災害対応における連携と役割分担は？それを機能させる陸上ネットワークは？

2-(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展

2-(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり

「シームレスな島嶼型交通体系の整備と安定的な運用」とは何でしょうか？生活交通確保維持改善事業などを使ってコミバスを運行しているところもありますが、知識不足もあり効果的な運用ができていないようにも思われます。外部人材との連携が必要だと思います。(関係人口かもしれません)

また、島民と観光客の流動だけでなく、モノの移動や高齢者の移動という観点を総合化した上で、何を、いつ、どこからどこへ運ぶのか(島に来ただけではダメ)？を有機的につなげて論理を組むべきですが、そのような観点が見られません。(港から家まで荷物を運ぶべない高齢者世帯の増加への対応は？) また、長期間船が運行できないときの対応は？運ぶのかス

トックするか？このことを島だけで考えてもらうことは難しいです。一方でモデル性の高い取り組みでもあります。小規模コミュニティにおける地域適正技術（ハイテクである必要はありません）によるモビリティモデルとしてのテストベッドになりうると思います。

2-(5) シームレスな交通体系の整備と鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入

地域公共交通計画についての考え方は記しておくべきだと思います。その上で、交通結節点が交流拠点として機能させるべき（乗り継ぎだけでなく、買い物や人が繋がる場にもなること）ことも記しておいた方が良いでしょう。素案には記されておりませんが、小さな空間スケールではグリーンズローモビリティの可能性もあり、この価値の一つに人の繋がりがあります。

また、ここでは無いかもしれませんが、道路機能の階層化、街路における Link&Place の考え方(特に国際通りや首里・美浜地区等)などが欠けていると思います。道路の Traffic 機能を高めるための沿道まちづくりの在り方、移動のためだけではなくたまり空間としての広場を含めた街路の在り方など、道路空間の再配分という言葉だけでは言い表されていないことがあります。

3 圏域別展開(1) 北部圏域(2) 中部圏域(3) 南部圏域(4) 宮古圏域(5) 八重山圏域

従来から指摘されているように、中南部都市圏で政令指定都市並みの人口・面積および人口密度であり、人流から見ても一つの経済圏・生活圏となっている。このことに鑑み、一つの政令市並みのきめ細かな土地利用と交通施策の連携が必要不可欠であるが、そのような視点にかけている。また、都市圏としては目的地間を繋ぐ（ゾーン間を繋ぐ）という発想でもよいが、より小さな空間スケール（隣接市町村）ぐらいでの結節点を以下にデザインするか？、さらに小さな一つの市町村であれば、目的地間を繋ぐではなく目的を繋ぐような土地利用・施設配置計画も考えられる。このことは人のつながりの創出にもなるとともに、このような地区内においてはグリーンズローモビリティぐらいが適切な場合もある。

少なくとも基盤整備部会が中心となるであろう土地利用や交通施策においては、ひとつのまとまりとして中南部都市圏を捉える必要がある。その上で、全体の交通軸・地域間連携拠点（基幹バスルートにおける那覇と胡屋以外への連携）の考え方、サブ結節点の位置づけ、地域拠点の在り方や方向性を、まちづくりと交通の両側面からデザインしておく必要がある。都市を考える空間スケール別に、土地利用の在り方と交通の在り方の、少なくとも方向性や考え方は示しておくべきである。100万人都市圏としての考え方は、これまでの章にも記されておくべき事項である。

その他：

以前から気になっていたのですが、本島中部などで口蹄疫が発生した場合の移動規制に対してどのような沖縄県では対応されるのでしょうか？この計画に書くかどうかは別として、

10kmの移動制限をかけられると名護にいる人は那覇に行けなくなります。。。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：小野尋子

委員 — 専門委員

所属部会名： 基盤整備部会

(素案)			本 文	意 見(修 正 文 案 等)	理 由 等
章	頁	行			
4	35	6	誰もが身近な場所で充実した活動ができるよう、中心市街地の活性化、土地区画整理事業や市街地再開発事業等を促進し、公園、道路、宅地等の一体的な整備に取り組む。	中心市街地の活性化、土地区画整理事業や市街地再開発事業等を促進し、賑わいの創出、まちなか居住の促進、高度利用の促進、公園、道路、宅地等の一体的な整備や地区に必要な住宅・公共施設の整備に取り組む。また、誰もが身近な場所で充実した活動ができるよう小学校区単位での公共施設の適正配置や、公共施設を拠点としたまちづくりや地域防災の活動を支援する	後半部分の記載内容が区画整理事業のみの内容となっている(公園道路宅地など)。中心市街地の活性化や市街地再開発事業を入れるのであれば、それらの事業で生み出されるものや効果を入れたほうが良い。また、中心市街地活性化などの話と小学校区のコミュニティの話は分けたほうが良い。
4	35	9	コンパクトなまちづくりを図るため、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通の沿線等に居住の誘導が図られるよう、市町村の取組を促進する。		こちら、生活空間としての記載であれば、生活拠点としての小学校区等のコミュニティ住空間の単位と、より広域の商業核や公共施設の立地とする地区拠点としての駅勢圏の概念を分けて記載されたほうが良いかと考えます。
4	48	33	首里城の復元はもとより、そこに象徴される歴史・文化の復興に取り組むとともに、沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくりに取り組む。	自然・歴史・文化の復興に取り組むとともに、	城下町の緑も重要な景観資源であったことが、城下町の記載で読み取れるので、自然という言葉を加えたほうが良いと考えます。

4 (別紙2)	50-13	13	首里城を中心とした首里杜地区において、県・市・有識者・住民・企業等の関係者が連携して、「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現に向けて、歴史や文化を感じる景観まちづくりの推進に取り組む。	・・・に向けて、自然・歴史や文化を	首里杜地区には、井戸や湧水もあり、文化財指定をされているものもある。水や緑が豊かな首里城下町は地元NPOの思いでもあるため、自然を加える。
4	67	17	住宅に困窮する低所得者を対象とした公営住宅の新規建設と建替えに取り組む。		新規建設と建て替えのみではなく、超過収入世帯の対処による限られた公営住宅の適性利用の促進や、新規多子世帯入居における期限付き入居制度の導入などの検討を行い、真に困窮する世帯への有効活用を図るなどを入れたほうが良いように感じる。
4	78	14	治水対策については、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる流域治水に取り組む		都市河川では、流域の最大土地利用は宅地であるので、宅地の透水性などを流域で担保する方策や、市町村の雨水タンクの設置助成などを支援する、などが盛り込めないか
4	93	9	国内・国外観光客の行動歴、購買データ等のデータの収集方法を検討し、観光ビッグデータの構築に取り組む。これにより、高次元のニーズへの対応、高付加価値な観光、観光消費額の向上、良質な観光客を誘致するターゲットマーケティングへの転換を図る。		ビックデータの管理主体は、地方行政型とエリア型がありますが、地方行政型となることが読み取れます。その際には、現在保有する各種コモンドータのファイル形式の統一など、行政関係課同士での調整も今後の課題になると考えられます。SmartCity関連の記載のところすべてで、更新頻度や時間頻度、shapeFile形式が異なるものの統一をマネジメントする体制づくりの記載が必要だと感じました。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会：産業振興部会

氏名：山城 博美

委員 ・ 専門委員

所属部会名：産業振興 部会

(素案)			本 文	意 見(修 正 文 案 等)	理 由 等
章	頁	行			
4章	P31	16行	運輸部門については、自家用車・路線バス等への…	運輸部門については、自家用車・路線バス・トラック等への…	県内のCo2排出量において運輸部門の比率は高い。その排出元には航空機と船舶も含まれているが、素案は触れていない。また、トラックについても明言した方が良い。
4章	P31	22行	(追加)	併せて県内路線に就航する航空機・船舶への低炭素化についても国と連携して支援・指導する。更に陸上交通における排気ガスの減少(低炭素化)や交通渋滞の緩和等への取組みとして、那覇-北部間の海上バイパス等モーダルシフトの構築を図る。	
			(追加)		

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 1

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

沖縄県振興審議会委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
4	69	24	このため、計画的な生活基盤の整備を行うとともに、デジタル化・オンライン化の促進に取り組む。	(5G通信網の整備を含めた)計画的な生活基盤の整備を行うとともに、デジタル化・オンライン化の促進に取り組む。	Society5.0の実現に向け、5Gなど次世代通信環境の整備が不可欠である。海洋島しょ圏の新たなインフラ整備の促進を強調するため追記。
4	71	26	次世代の通信環境に対応した環境整備	次世代の通信環境に対応した情報基盤整備環境整備	適切と考える語句への修正提案
4	78	8	…国が進める国土強靱化、防災・減災の取組を踏まえ、次に掲げる施策を推進する。	…国が進める国土強靱化、防災・減災の取組を基本に、島しょ県の特性を踏まえた、地球温暖化による海面上昇、スーパー台風の来襲、塩害等の対策に留意し、次に掲げる施策を推進する。	沖縄の特殊性を前面に出した修正案の提案。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

※切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用)
(新たな振興計画(素案)に対する意見) 2

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

沖縄県振興審議会委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
4	78	28	追加	<input type="checkbox"/> 公共建造物・建築物については、スーパー台風にも備えた風速100mにも耐えられる強靱化、電線類地中化の推進を図る。	台風の大型化に対する施策も必要。
4	147	10以降	<input type="checkbox"/> 体系的な道路ネットワークの構築	高規格道路の延伸、整備の促進について、記載して欲しい。	県土の均衡ある発展に結びつく、名護東道路の延伸、うるま市を連絡する横断道路の記載、普天間基地跡地計画を踏まえた南北・東西の道路整備計画について、丁寧かつ分かり易く記載すべき。
4	196	21	<input type="checkbox"/> 体系的な幹線道路の整備にあたっては、	高規格道路の延伸、整備の促進について、記載して欲しい。	県土の均衡ある発展に結びつく、名護東道路の延伸、うるま市を連絡する横断道路の記載、普天間基地跡地計画を踏まえた南北・東西の道路整備計画について、丁寧かつ分かり易く記載すべき。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 3

提出先の部会： **基盤整備部会**

氏名：津波達也

沖縄県振興審議会委員

所属部会名：

部会

(素案)			本 文	意 見(修正文案等)	理 由 等
章	頁	行			
5	187	15	PPP / PFI やSIB (Social Impact Bond) など、官民連携による新たな財源の確保や有効活用を基本方向に、民間事業者のノウハウや資金を活用する事業手法の導入に取り組み、行政コストの低減や資金調達の多様化を推進する。	PPP / PFI やSIB (Social Impact Bond) など、官民連携による新たな財源の確保や有効活用を基本方向に、 <u>地元企業の積極的参画を図り</u> 民間事業者のノウハウや資金を活用する事業手法の導入に取り組み、行政コストの低減や資金調達の多様化を推進する。	PFIにおいては、建設、管理、資金調達において高度な能力を企業に求められる。PFIの実施にあたっては、県内企業が参画でき活躍できるシステム作りが必要である。
6	189	18	地震、台風、集中豪雨や感染症など、強大化する自然災害や様々なリスク等に対する危機管理体制の強化、 <u>ソフト・ハード両面</u> からの防災・減災対策の強化を進め、災害に強い強靱な県土づくりに取り組む。	「ソフト面」と「ハード」面を分けて記述する。「海水面の上昇やスーパー台風等にも耐えられるよう、電線の地中化、海外護岸、防波堤の1m嵩上、公共建造物の耐風化など県土の強靱化を図る」旨の記述を追加する。	島しょ県沖縄における国土強靱化は沖縄の固有課題であり、それが伝わるよう丁寧に記述して欲しい。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

別紙 2-5 新たな振興計画（素案）に対する意見書
令和 3 年 8 月 沖繩振興審議会委員 津波達也

以下の施策等について、基本施策、圏域別展開への追加・検討等を要望します。

ア 伊江島空港を活用した世界遺産観光ネットワークの確立による北部圏域の活性化
伊江島空港は、米軍訓練空域により運用制限されているものの、1500m の滑走路を有し、伊江島空港を拠点とした奄美・徳之島・那覇空港及び周辺離島空港等とを結ぶ世界遺産観光ネットワークの形成は北部の活性化、県土の均衡ある発展に大きな効果が期待される。米軍空域の返還・制限緩和等を図り、伊江島空港を拠点とした航空ネットワークの形成を図ること。

北部圏域の防災拠点空港としての活用も可能となる。

イ 北部振興に向けた未来型まちづくりと実現に向けた組織強化

北部振興のためには、圏域の人口増に結び付き、観光に特化したスーパーシティ等の未来型のまちづくりプロジェクトが不可欠であり、鉄軌道整備の実現に向けても一体的に進めることが重要である。また、その実現に向けた組織強化が必要であり、北部市町村と連携する組織を北部圏域に設置する等について明記すること。

22

ウ 災害に強い防災拠点等の整備

周囲を海で囲まれ、災害復旧の重機等の建設機械、備蓄品等の多くが災害に弱い低地にある。災害時に機動力を発揮する重機等及び備蓄品の安全保管機能、災害復旧活動に機動性を備えた防災拠点等の整備を位置付けること。（長期計画として普天間跡地は記載）

エ 北部圏域の南北、東西横断道路の強靱化

北部圏域の国道 331 号、県道 2 号線等は、異常時の交通規制区間を有し、国道 58 号も低位置にあり災害に弱い。世界自然遺産を有する北部圏域の住民・観光客の安全安心の確保を図るための、道路防災機能の強化を位置づけること。

オ うるま市サンライズ地域と高速道路を結ぶ地域高規格道路の整備

うるま市の東海岸地域は、多くの島々を有し風光明媚な地域であるが、道路防災ネットワーク機能、観光ネットワーク機能等が低い状況にある。県土の均衡ある発展を支えるためには、沖縄自動車道路と接続する東西横断道路の整備が明記すること。

カ 県土構造再編に資する駐留軍跡地について、円滑な整備を図るための具体的目標設定と国・県・市町村連携の強化

駐留軍用地跡地利用等については、本素案（p198、L14）において「多核連携型の国づくりの一翼を担う我が国の拠点として、スマートシティ、スーパーシティ構想の実践など、駐留軍用地跡地利用を機に、先端技術やICT等を先駆的に導入・利活用する近未来の都市づくりを展開する。」とあるが、その整備計画の立案については、当該市町村では必要な法的、技術的能力がなく困難と考える。

那覇軍港、牧港補給基地、普天間空港の跡地における近未来の都市づくりに向けて、港湾・道路、鉄軌道等の施設毎の整備等について、だけれが、いつ、何を、どのように進めるのかについて、具体的かつわかり易く記述して欲しい。

都市構造の歪みと県土再編にどう繋げるのか、わかり易く圏域別に記載して欲しい。

また、円滑な整備に向けた、駐留軍返還跡地を限定とした国による長期借り上げに向けた法整備及び見直し等による迅速な返還跡地の活用促進を検討していただきたい。

以上